

山本五十六・鈴木貫太郎等からの名刺・手紙

個人所蔵

進中佐の死去に際し、弔意を伝える名刺やハガキと進中佐の父親に宛てられた暑中見舞いハガキなど。

山本五十六は大艦巨砲主義の海軍の中で、早い時期から戦闘用飛行機の可能性を唱え、太平洋戦争開戦時、連合艦隊司令長官として戦闘用飛行機による真珠湾奇襲攻撃を立案・成功させた。

鈴木貫太郎は日本がポツダム宣言受諾を決定した際の内閣総理大臣で、日奈古の進信蔵石碑を揮毫した。

謹賀新年
海軍中將 山本五十六
時分、海軍中將 山本五十六
謹賀新年
東京市赤坂區靈南坂町一七

暑中見舞い
申上候
山本五十六

謹賀新年
昭和十二年元旦
東京市豊島區巢鴨七丁目一五七六
(電話大塚(86)〇〇一〇番)
男爵 鈴木貫太郎

暑中御見舞を忝し
有難御禮申上候
昭和九年盛夏
鈴木貫太郎
東京市麴町區一番町二番番地
電話九段(88)二二七五番

進中佐、殉職ヲ悼ミ
謹テ弔詞ヲ呈ス
海軍少將 岩村兼言

海軍航空廠長
海軍中將 枝原百合一
東京市中野區水川町三二